

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(2)	○事業所と地域とのつきあい 地元大野や川西久代の自治会に加入し、婦人会の行事に参加するなどして、交流しているが、ゲスト様の高齢化・重度化に伴い積極的に参加することが困難になってきた。	地域に開かれたグループホームとして、交流回数を増やし、認知症への理解を深めていく。	①24. 3月～大野自治会長の運営推進会議参加 ②6/23 大野長寿会ボランティアによる手品の催しあり、今後も積極的に交流していく。 ③9月、公民館を利用し、健康に関する情報や認知症への理解と支援のための取り組みを予定	6ヶ月
2	(8)	○契約に関する説明と納得 利用申し込み時の不安や疑問には、ホーム見学時や直接ご本人様を訪問するなどして丁寧に説明・対応しているが、電話での質問も多く受け取る状況にある。	質問への回答を統一、標準化するためにQ&Aを作成する。	「よくある質問」としてQ&Aを作成した。	作成し活用中
3	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング ゲスト様がより良く暮らせるように、ご家族様と話し合い、意見や思いをプランに盛り込みながら、現状に即した介護計画を作成している。	介護計画へのご家族様の意見や思いを一方的にならず、十分に把握すると共に積極的に取り入れる。	家族の意向聞き取りシートを作成し「医療面・日常生活面・運営面」に分類し、ケアプラン更新時や面会時に記入していただくように実施している。	実施中
4	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室空間は、ベッドの他、馴染みのソファやいす等を置き安心できる空間ではあるが、ご高齢のゲスト様にとって安全であるとは言えない。	居室内の動線の安全確保をする。	ご家族の面会時・介護計画説明時に、介護度の変化や高齢化に伴い、居室内をなじみの空間を生かしつつ、安全・安心な空間に変更する必要性を理解していただき、動線を整頓する。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。